単元名・教材名	見準 教科 国語 学年 第3学年 △細 単元の目標	支 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと ☆他教科 評価規準
三年生で学ぶこと		
ことばに親しもう	□◇声に出して読んだり、わかりやすく話したりすることや、内容を聞き取ったりすることを楽しみ、 国語学習への意欲をもつ。	
「じこしょうかいビンゴ ゲーム」をしよう	◇「自己紹介ビンゴゲーム」を通して、自身のこと を紹介し合う。	◎【知枝】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 (〔知識及び技能〕(1)イ)
	△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒◎知技(1) イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、判表 A (1)ア ◇相手を意識して、話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら、話の構成を考えること。 ⇒思判表 A (1) イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 →思判表 A (1) ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことをもつこと。 ⇒思判表 A (1) エ ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表 A (2) イ	 ○【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (「思考力、判断力、表現力等」Aア) 【態度】進んで日常生活の中から話題を決め、学習の見通しをもって情報を集め、自身のことを紹介し合おうとしている。
かえるのびょん	□姿や様子をイメージしながら、工夫して音読する。 △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読すること。 →◎知技(1)ク △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 →知技(3)オー登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 →◎思判表 C(1)イー登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 →思判表 C(1)エー時や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。 →思判表 C(2)	 ◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク) ◎【思判表】「読むこと」において,登場人物の行動や気持ちなどについて,叙述を基に捉えている。(〔思考力,判断力,表現力等〕Cイ) 【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について,場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し,学習課題に沿って工夫して音読しようとしている。
- ばめんのつながりに気 とつけて読もう	イ 「□登場人物の行動や気持ちを思い浮かべながら読み、物語の続きを予想する。	
白い花びら	△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、活示する語句のまとまりがあることを理解している主語とが語との関係、語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒知技(1)カ △主語と透視しみ、修飾と割、必要な知識や情報を得ることは気付くこと。 ⇒の対技(1)カ ■電になったを現について、書こうとしたことが明確になったとの見付けること。 ⇒の内容や(1)オ ■気に入った表現について、書こうとしたことが明確になったとの見付けること。 ⇒の内容や(1)オ ■ はいることの表別がでで、叙述を基に捉えることが明現のよいところを見付けること。 ⇒の思判表しののといるが表別がで、叙述を基に捉えること。 ⇒の思判表の変化などについて、報告のの変と、対し、情景について具体的に思想を考えを持つこと。 ⇒思判表と(1)オ □文章などを読んで理解したことに基づいて、を考えを持つこと。 ⇒思判表と(1)カ ■ まなどを表して、の感じた方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒思判表と(1)カ ■ まなどを表したのを表し、から、まなどを表したとを書くお話動。 を読みりする活動。 きまなどを表したり → ともとを書くが話からことについての考え方を深める。	 ◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)力) ◎【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(〔知識及び技能〕(2分) 【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ) ◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) 【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。

「発見ノート」を作ろう	■毎日の生活の中での発見や不思議に思ったことなどを「発見ノート」に書く。	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)
	あることに気付くこと。 →◎知技(1)ア △考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など 情報と情報との関係について理解すること。 →知 技(2)ア ■相手や目的を意識して,経験したことや想像した	◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、 経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分 類したりして、伝えたいことを明確にしている。(「思考力、 判断力、表現力等〕Bア) 【態度】積極的に伝えたいことを明確にし、学習の見通しを もって「発見ノート」を作ろうとしている。
	を基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表 B(2) ア ☆理科: 観察ノートへの応用を図ることができる。	
	△国語辞典の引き方を理解し、辞典を活用する。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ	 ◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、 引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ) 【態度】積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を活用しようとしている。
二 すじみちを立てて発表 しよう	◇中心点をはっきりさせたり、理由を添えたりして 自分の宝物を紹介し、友達の意見や感想をもとによ りよい発表にする。	
よう	あることに気付くこと。 ⇒知技(1) ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1) イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1) キ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒⑩ 知技(2) ア ◇目的を意識して、日常生活において伝えたいことなどから話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、話題に合うことがらを選ぶこと。 ⇒ 思判表 A(1) ア	 ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ) ⑥【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ) 【態度】粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。

即いてそがるこ		◎【毎世】比較め八粨の仕士 以亜ム紅与れじの事を向は上
聞いてさがそう	◇大事なことは何かを考えて、メモを取りながら道順の説明を聞く。	◎【知技】比較や分類の仕方,必要な語句などの書き留め方,引用の仕方や出典の示し方,辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)
	△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉 の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこ と。 ⇒知技(1)イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違い	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを 記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや 自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。
	に注意しながら書くこと。 ⇒知技(1)キ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め 方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い 方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ ◇目的を意識して、日常生活において伝えたいこと などから話題を決め、集めた材料を比較したり分類 したりして、話題に合うことがらを選ぶこと。 ⇒	(〔思考力,判断力,表現力等〕Aエ) 【態度】進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもって情報を集めようとしている。
	思判表 A (1) ア ◇相手を意識して, 話の中心が明確になるように理由や事例などを挙げながら, 話の構成を考えること。 ⇒思判表 A (1) イ ◇話の中心が伝わるように, 場面を意識して言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫すること。 ⇒思判表 A (1) ウ	
	◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き,話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえるとともに,話の内容を基に自分の考えを持つこと。 ⇒◎思判表A(1)エ	
	◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表 したりする活動。 ⇒思判表A(2)イ	
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	△新しく学ぶ漢字や既習の漢字を使って漢字学習 ノートを作る。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)
	△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年 別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字 を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当 されている漢字を書き、文や文章の中で使うととも に、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文 や文章の中で使うこと。 →◎知技(1)エ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め 方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い 方を理解し使うこと。 →知技(2)イ	
	△漢字が, 〜んやつくりなどから構成されていることについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ	
漢字の広場 ①	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章
二年生で学んだ漢字 ①	漢字などを使って文を書く。	の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)
	別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字 を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当	【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)
	されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 →◎知技(1)エム丁寧な言葉を使うとともに、	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
	■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ	
三 だんらくの要点をつかもう		
0)		

うめぼしのはたらき	示する語句と接続する語句の役割,段落の役割について理解すること。 $\rightarrow \odot$ 知技(1)カ \triangle 考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 $\rightarrow \odot$ 知技(2)ア \triangle 比較や分類の仕方,必要な語句などの書き留め方,引用の仕方や出典の示し方,辞書や事典の使い方を理解し使うこと。 $\rightarrow \odot$ 担刊表で観点に着目しながら,考えと理由,事例の関係などを叙述を基に捉えること。 $\rightarrow \odot$ 思判表 \subset (1) \subset \subset \subset (1) \subset	 ◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) ◎【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア) ◎【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ) 【態度】粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付け、学習課題に沿って要点をまとめようとしている。
めだか	事なことをまとめる。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 →◎知技(1)カ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 →知技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 →知技(3)オ ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 →思判表B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 →思判表B(1)ウ □段落相互の関係に着目しながら、考えと理由、事	 ⑤【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ) 【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ) ⑥【思判表】「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cア) ⑥【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ) 【態度】粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、学習課題に沿って分かったことや大事なことをまとめようとしている。
俳句に親しむ	りするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒◎知技(3)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表 B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ ☆道徳:我が国や郷土の伝統と文化を大切にする。 ☆図書館活用:俳句への関心を広げる。	 ◎【知技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(〔知識及び技能〕(3)ア) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) 【態度】進んで易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
四 しりょうを集めて活用しよう		

本で調べよう 【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方 へ本の仕組みやつくりを知り、それをもとに知りた いことに応じた本を探して読み,必要な事柄を「読 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っ 書カード」に記録する。 ている。(〔知識及び技能〕(2)イ) △知りたい情報を見つけるための方法を知り、それ をもとに目的に応じた本を探して読み, 必要な事柄 ◎【思判表】「読むこと」において,目的を意識して,中心と を「読書カード」に記録する。 なる語や文を見付けて要約している。(〔思考力,判断力,表 現力等〕 C ウ) △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など 情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知 【態度】積極的に、目的を意識して、中心となる語や文を見付 技(2)ア けて要約し、学習課題に沿って分かったことを説明しようとし △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め ている。 方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い 方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報 を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3 □目的を意識して、中心となる語や文を見つけて内 容を要約すること。 ⇒◎思判表 C(1)ウ □文章などを読んで理解したことに基づいて、感想 や考えを持つこと。 ⇒思判表 C (1) オ □記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用 て、分かったことや考えたことを説明したり、意 見を述べたりする活動。 ⇒思判表 C(2)ア □学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情 報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。 \rightarrow 思判表 C(2) ウ 動。 ☆理科:図鑑の活用 ■図や資料を使って、生き物の特徴を比べて書く。 【知技】主語と述語との関係,修飾と被修飾との関係,指示 クラスの「生き物ブック」 を作ろう する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解して △主語と述語との関係,修飾と被修飾との関係,指 いる。([知識及び技能](1)カ) 示する語句と接続する語句の役割、段落の役割につ ◎【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、 経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、 いて理解すること。 ⇒◎知技(1)カ △比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め 方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い 方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像した 判断力,表現力等〕Bア) ことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にするこ ◎【思判表】「書くこと」において,書く内容の中心を明確に し、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注 意したりして,文章の構成を考えている。([思考力,判断力,表現力等]Bイ) ⇒◎思判表B(1)ア ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまと まりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意し 【態度】粘り強く文章の構成を考え,学習の見通しをもって説明 する文章を書こうとしている。 たりして,文章の構成を考えること。 ⇒◎思判表 B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を 明確にして、書き表し方を工夫すること。 表 B(1)ウ ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した 表現になっているかを確かめたりして, 文や文章を 整えること。 ⇒思判表B(1)エ ■感想や意見を伝え合い, 書こうとしたことが明確 になっているかなどについて、文章の内容や表現の よいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ■調べたことをまとめて報告するなど,事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア ☆理科:観察記録文の書き方に活用することができ る。 漢字の広場 ② ◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章 △漢字の音と訓について理解する。 漢字の音と 訓 の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ) △漢字と仮名を用いた表記。送り仮名の付け方。改 行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに, 句読点を適切に打つこと。また,第3学年において 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文 ・文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字の「音」と「訓」 について知り、正しく使おうとしている。 は、日常使われている簡単な単語について、ローマ 字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年 別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字 を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当 されている漢字を書き、文や文章の中で使うととも に、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文 や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め 方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い 方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ

漢字の広場 ② 二年生で学んだ漢字 ②	△絵を見て想像したことをもとに,2年生で学んだ 漢字などを使って文を書く。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章 の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)
	△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年 別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字 を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当 されている漢字を書き、文や文章の中で使うととも に、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文 や文章の中で使うこと。 →◎知技(1)エ	【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使
		い, 学習課題に沿って, 教科書の絵の中の言葉を使って文を書 こうとしている。
	■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ウ	
五 登場人物のせいかくを 考えながら読もう		
のらねこ	△様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には性質や 役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解 し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)
	技(2)ア	【思判表】「書くこと」において,自分の考えとそれを支える 理由や事例との関係を明確にして,書き表し方を工夫してい る。(〔思考力,判断力,表現力等〕Bウ)
	オ ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまと	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ)
	(1)イ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)
	明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ □場面の移り変わりや登場人物の行動、気持ちの変化などについて、叙述を基に捉えること。 ⇒◎思	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)
	判表C(1)イ □場面の移り変わりと結びつけて、登場人物の性格 や気持ちの変化、情景について具体的に思い描くこ と。 ⇒◎思判表C(1)エ	◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたこと や考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ)
	□文章などを読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つこと。 ⇒思判表 C(1)オ □文章などを読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ⇒◎思判表 C(1)カ	【態度】進んで登場人物の性格について、場面の移り変わりと 結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語の感想 を書こうとしている。
	■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 →思判表 B(2) ウロ詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合っ たりする活動。 →思判表 C(2) イ	
	☆道徳:物語の読みをとおして、相手のことを思い やったり、互いに理解し信頼し合ったりすることに ついて考える。	
きせつの言葉を集めよう	△俳句には「季語」が読み込まれていることを知り、季節に関係する言葉を集める。	◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。(〔知識及び技能〕(3)イ)
	りするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒知技(3)ア △長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。 ⇒◎知技(3)イ	
		【態度】積極的に、長い間使われてきた季節を表す言葉の意味を知り、学習課題に沿って季節の言葉を集めようとしている。
	■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア	

よく見て, 話し合おう ◇写真をよく見て,気づいたことや考えたことにつ ◎【知技】言葉には,考えたことや思ったことを表す働きがあ いてグループで話し合う。 ることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア) △言葉には,考えたことや思ったことを表す働きが ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において,目的や進め方 を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意 あることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア ることにX内へこと。 → ◎ MIX(I) / 「健康がし、可式などの役割を来たしながら間じ古べ、互いの息 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉 見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 (〔思 の抑揚や強弱,間の取り方などに注意して話すこ 考力,判断力,表現力等]Aオ) ⇒知技(1)イ 【態度】進んで目的や進め方を確認し、学習の見通しをもって グループで話し合おうとしている。 △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など 情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知 技(2)ア ◇目的を意識して, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う ために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇相手を意識して、話の中心が明確になるように理 由や事例などを挙げながら, 話の構成を考えるこ ⇒思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の 抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 思判表A(1)ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞 き, 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの 中心を捉え, 自分の考えを持つこと。 ⇒思判表 A (1) エ ◇目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし ながら話し合い, 互いの意見の共通点や相違点に着 目して, 考えをまとめること。 ⇒◎思判表A(1)オ ◇互いの考えを伝えるなどして,グループや学級全 体で話し合う活動。 ⇒思判表 A(2)ウ ■◇取材を通してわかったことを、伝えたいことを 明確にして報告文にまとめ、感謝やお誘いの手紙を つたえたいことをはっ きりさせて書こう 添えて送る。 取材して知らせよう ■◇取材メモを上手に使って、組み立てを考えなが ◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との ら調べたことを文章にまとめる。 違いに注意しながら書いている。(〔知識及び技能〕(1)キ) インタビューをしよう △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指 ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情 示する語句と接続する語句の役割、段落の役割につ 報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕 いて理解すること。 ⇒知技(1)カ (2)ア) △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違い □ に注意しながら書くこと。 ⇒ ◎知技(1) キ □ 公考えとそれを支える理由や事例,全体と中心など 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自 情報と情報との関係について理解すること。 分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 (〔思考力,判断力,表現力等〕A工) 知技(2)ア ◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞 き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの ◎【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確に 中心を捉え, 自分の考えを持つこと。 →◎思判表 し、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注 A (1)エ 意したりして,文章の構成を考えている。(〔思考力,判断 ■相手や目的を意識して,経験したことや想像した 力,表現力等] Bイ) ことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較し たり分類したりして, 伝えたいことを明確にするこ ◎【思判表】「書くこと」において,自分の考えとそれを支え る理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ⇒思判表B(1)ア ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意し たりして、文章の構成を考えること。 ⇒◎思判表 【態度】粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を 考え、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。 B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を 明確にして、書き表し方を工夫すること。

判表 B(1) ウ

整えること。

したりする活動。

よいところを見付けること。

■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した 表現になっているかを確かめたりして、文や文章を

◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表

⇒思判表A(2)イ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれ を基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆社会科:校外学習での報告文の作成に役立つ。

⇒思判表B(1)オ

⇒思判表 B (1)エ ■感想や意見を伝え合い、書こうとしたことが明確 になっているかなどについて、文章の内容や表現の 手紙を書いてつたえよう ■手紙の書き方を知り、目的に合わせた手紙を書 ◎【知技】丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との 違いに注意しながら書いている。(〔知識及び技能〕(1)キ) △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違い ◎【思判表】「書くこと」において,自分の考えとそれを支え る理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) に注意しながら書くこと。 ⇒◎知技(1)キ ■書こうとすることの中心を明確にし、内容のまと まりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意し たりして, 文章の構成を考えること。 ⇒思判表B ◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手 (1) \(\square\) や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や 文章を整えている。(〔思考力,判断力,表現力等〕Bエ) ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を 明確にして、書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思 判表B(1)ウ 【態度】粘り強く相手や目的を意識した表現になっているかを ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した 確かめ、学習の見通しをもって目的に合わせた手紙を書こうと 表現になっているかを確かめたりして、文や文章を している。 整えること。 ⇒◎思判表 B(1)エ ■案内状や礼状を書くなど、伝えたいことを手紙に 書く活動。 ⇒思判表B(2)イ ☆社会科・総合的な学習の時間:依頼状やお礼状を 書く際に活用できる。 漢字の広場 ③ △送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせる「◎【知技】漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行 の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに, 句読点 送りがな はたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。 を適切に打っている。(〔知識及び技能〕(1)ウ) △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改 行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに, 【態度】進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使 句読点を適切に打つこと。また,第3学年において い,学習課題に沿って,漢字を正しく使おうとしている。 は、日常使われている簡単な単語について、ローマ 字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年 別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字 を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当 されている漢字を書き, 文や文章の中で使うととも 当該学年に配当されている漢字を漸次書き, 文 ⇒知技(1)エ や文章の中で使うこと。 △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増 し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や 役割による語句のまとまりがあることを理解し、語 彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △絵を見て想像したことをもとに, 漢字などを使って文を書く。 2 年生で学んだ ◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章 二年牛で学んだ漢字 ③ の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年 別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字 を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当 されている漢字を書き、文や文章の中で使うととも に、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使 に、ヨ殴チーによって、 → © 知技(1)エ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違い い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書 こうとしている。 ムコテなロボセスノことでに、 WIPと市IPとの選い に注意しながら書くこと。 ⇒知技(1) キ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を 明確にして、書き表し方を工夫すること。 判表B(1)ウ ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したこ

■詩や物語をつくるなど,感じたことや想像したとを書く活動。 ⇒思判表 B(2) ウ

七 場面のうつりかわりに 気をつけて読もう

□場面の移り変わりや登場人物の行動, 気持ちの変 化などについて, 叙述を基に捉える。

わすれられないおくりもの	示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ △ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知 技(2)ア △幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オ ■ 書こうとすることの中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 ⇒思判表 B(1)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を	 ③【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ④【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) 【態度】進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、登場人物の言葉を考えようとしている。
ローマ字	て理解し、ローマ字に親しみを持ち、読めるようにする。 △漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年において	 ◎【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(〔知識及び技能〕(1)ウ) 【態度】進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもって、ローマ字に親しもうとしている。
ローマ字とコンピューター		◎【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 (〔知識及び技能〕(1)ウ) 【態度】進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもってコンピューターにローマ字で入力しようとしている。

令和4年度評価基準 教科 国語 学年 第3学年

△知技 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと ☆他教科との関連

単元名・教材名	単元の目標	評価規準
三年生で学ぶこと		
一 絵文字の特長をとらえよう	◇身のまわりのさまざまな絵文字がどんなことを表しているかなどについて話し合い、絵文字に対する興味や関心を高める。	
世界の人につたわるように	◇身のまわりの絵(絵文字)を友達と紹介し合う。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒◎思判表A(1)ア ◇目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 ⇒思判表A(1)オ ◇互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。 ⇒思判表A(2)ウ	 ◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aア) 【態度】進んで集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、グループで話し合おうとしている。
くらしと絵文字	□段落のつながりに気をつけて文章を読み、絵文字を説明する文章を書く。 △主語もと述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語もと接続する部の知り、全体と中→のとと。 → 30 一次 4 を 4 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を	②【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(〔知識及び技能〕(1)カ) ②【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) 【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ) ③【思判表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ) ④【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) 【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、身のまわりの絵文字について説明する文章を書こうとしている。

絵文字で表そう	◇司会や記録などの役割を決めて、保健室を表す絵文字についてグループですすんで話し合う。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知垓(1) イ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しなが気勢の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書し使う意識して、明常生活の中から話題を決合うために必要な事柄を選ぶこと。 →思判表A(1) ア ◇耐がな意識とで、がの取り方などを挙げながら、新聞になる合うたのの取り方などを挙げながら、計画を表えること。 →思判表A(1) イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識と、⇒思判表A(1) ク ◇話の中心が伝わるように、場面を意識と、⇒思判表A(1) ウ ◇必要なことを記録したり質問したりしながら中山を、必要なことを記録したり質問したりいまみA(1) 方を必要なことを記録したり質問とないままとの中に表して、対の中のように、場面を変したりに、対したりにながらいままとのの取り方などを工夫。 →の問じたりにながらいまるとの、対の地方を収入。自らいては、対したりに、対したりに、対したりに、対したりに、対したりに、対したいまなに、対したりに、対したりに、対したりに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなに、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまなには、対したいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまない	◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め 方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理 解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や進 め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめて いる。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aオ) 【態度】積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割 を果たし、学習の見通しをもってグループで話し合おうと している。
気持ちをつたえる話し方・聞き方	△言葉にはいろいろな意味がこめられることを知り、気持ちが伝わる話し方・聞き方について考える。 △言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 →◎知技(1)ア △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。→知技(1)イ ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 →◎思判表A(1)イ ◇話の中心が伝わるように、場面を意識して言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 →思判表A(1)ウ ◇互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。 →思判表A(2)ウ	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア) 【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ) 【態度】進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、見通しをもって、気持ちを伝えるための話し方・聞き方について考えようとしている。
漢字の広場 ④ へんとつくり	て、漢字を正しく読んだり書いたりする。△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別	
漢字の広場 ④ 二年生で学んだ漢字 ④	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ◇第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当の知技(1) エ ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 ⇒知技(1) キ ■相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒⑤思判表B(1) ア ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2) ウ	 ◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ) 【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

二 登場人物の気持ちをそうぞう しながら読もう	□会話や行動に注意して,豆太やじさまの気持ちの変化を想像し,物語のおもしろいところを紹介する。	
モチモチの木	△様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、 話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。 ⇒◎知技(1)オ △考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア 「一個広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立ことに気付くことを必知像したことなどの自書に入るとを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、内容のまととりが関したりして、は、まとの中心を明確にし、内容の意したりの関系をつくったりまること。 ⇒書き表とつくったを考えること。 ⇒間判表との関係を明確にして、すの考えと表し方を工夫すること。 ⇒思判表とので、 会談について、 の変とはいって、 の変にして、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とはいって、 の変とにいって、 の変とにいって、 の変となどをがして、 ののまにはあいて、 の変となどを読んで理解したことに基づいて、 感想や考えを持つこと。 ⇒◎思判表と(1)オ	 ●【知技】様子や行動,気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(「知識及び技能」(1)才) ●【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(「知識及び技能」(3)才) 【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(「思考力、判断力、表現力等〕Bア) ●【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(「思考力、判断力、表現力等〕Cエ) ●【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(「思考力、判断力、表現力等」Cオ) 【態度】積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち、学習の見通しをもって物語のおもしろいところを紹介しようとしている。
「おすすめ図書カード」を作ろう	△自ら作品を選び、自分で課題を決めて統書をする。 △「おすすめ図書カード」を作り、本を紹介し合い、 さまざまな本を読む。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強技(1) イ △考ととれを支える理由や事例、全体と中心知識を情報を得ることにの関係についたがでは、といるといるというでは、ことにも、一つのでは、一ついいいは、一つのでは、一つのでは、一ついいは、一つのでは、一ついは、一つのでは、一ついいは、一つのでは、一ついいは、一ついは、一ついいは、一ついいは、一ついいは、一ついいは、一ついいは、一ついは、一つ	 ③【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ) ⑥【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(〔知識及び技能〕(3)オ) 【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことをいるとを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) ⑥【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ⑥【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、「おすすめ図書カード」で本を紹介し合おうとしている。
こそあど言葉	△指示語のはたらきを理解し、適切に使う。 △主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 →◎知技(1)カ	

はっとしたことを詩に書こう	■身近なこと、想像したことをもとに、表現を工夫して詩を書く。	◎【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア)
	△言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア △様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、 話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊か	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ)
	にすること。 →◎知技(1)オ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 →◎思判表	◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを 支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工 夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)
	B(1)ウ ■文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 ⇒思判表B(1)エ	【態度】積極的に書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。
	■書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表 B(1)オ	
	■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ	
ことわざ・慣用句	△ことわざや慣用句の意味を知り、ふだんの生活の中で使うことができるように、カードを作る。	◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句,故事成 節などの意味を知り,使っている。(〔知識及び技能〕
	△長い間使われてきたことわざや慣用句,故事成語などの意味を知り,使うこと。 →◎知技(3)イ ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして,書き表し方を工夫すること。 →◎思判表 B(1)ウ	(3)イ) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ)
	■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを 基に考えたことを書く活動。 ⇒思判表 B(2)ア	【態度】積極的に、長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
	☆総合的な学習の時間・道徳:ことわざの成り立ちや 意味について興味をもって調べたり, 我が国の伝統や 文化に目を向けたりする。	
詩を楽しもう	□音読したり、イメージを広げたりして、詩の世界を 楽しむ。	◎【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク)
夕日がせなかをおしてくる	△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の 抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 ⇒知技(1)イ △文章全体の内容や構成の大体を意識しながら音読す ること。 ⇒◎知技(1)ク	◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ)
いちばんぼし	△幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 ⇒知技(3)オロ登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。	◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ)
	⇒◎思判表C(1)エ □文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考え をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ	【態度】進んで、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
	□詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合っ たりする活動。 ⇒思判表 C(2)イ	
三 調べて発表しよう	◇町の行事について調べ、図や写真、表など、資料を 選んで発表する。	
町の行事について発表しよう	△相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の 抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。⇒ ◎知技(1)イ	◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ)
		◎【知技】比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(〔知識及び技能〕(2)イ)
	解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集 めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うため に必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げなが	◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Aウ)
	ら, 話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 ⇒思判表 A (1) イ	【態度】進んで話の中心や話す場面を意識して,言葉の抑揚や強弱,間の取り方などを工夫し,学習の見通しをもって,資料を使って発表しようとしている。
	◇必要なことを記録したり質問したりしながら聞き, 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を 捉え,自分の考えを持つこと。 ⇒思判表A(1)エ	
	◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 ⇒思判表 A(2)イ	

文の組み立て	△主語と述語や修飾語との関係を理解して、文の組み 立てを捉える。	◎【知技】主語と述語との関係,修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割,段落の役割について
	△様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解すること。 ⇒◎知技(1)カ	理解している。([知識及び技能](1)力) 【態度】進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。
漢字の広場 ⑤ 漢字の組み立て	得,漢字を正しく読んだり書いたりする。 △第3学年及び第4学年の各学年においては,学年別	
漢字の広場 ⑤ 二年生で学んだ漢字 ⑤	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当の一を使うこと。 →⑩知技(1)エースーンでは、一個十年の日の大きのは、一個十年の日の大きのは、一個十年の日の大きのは、一個十年の日の大きのは、一個十年の日の大きのは、集めたが、一個十年の日の大きのは、集めたが料を比較したの分類したりもして、伝えたいことを明確にすること。 →⑩思判表 B(1)ア ■詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 →思判表 B(2)ウ	 ◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ) 【思判表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
四 図や写真と文章を, むすびつけて読もう	□段落のつながりに気をつけながら写真と文章を結び つけて読み、考えたことをまとめる。	
川をさかのぼる知恵	する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 \Rightarrow ⑤知技(1)カ \triangle 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。 \Rightarrow ⑥知技(2)ア \triangle 信広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 \Rightarrow 知技(3)オ \blacksquare 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 \Rightarrow 思判表B(1)ウ の関係などを叙述を基に捉えること。 \Rightarrow 思判表C(1)ア	 ◎【知技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(「知識及び技能〕(1)カ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(「知識及び技能〕(2)ア) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(「思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって友達と感想を交流しようとしている。
十二支と月のよび名	ついて知り, さまざまな言葉を探して感じたことを書 く。	 ◎【知技】長い間使われてきたことわざや慣用句,故事成語などの意味を知り,使っている。(〔知識及び技能〕(3)イ) 【態度】積極的に,長い間使われてきた十二支や月の呼び名を知り,学習の見通しをもって,今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけようとしている。

五 つたえたいことの中心を明ら	■身近な生活の中から自分に合った題材を見つけ、段	
かにして書こう	落相互の関係を考えながら、中心になる場面をはっき りさせて文章を書く。	
強く心にのこっていることを	△様子や行動、気持ちや性格を表す語には性質や役割による語句の生きまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることをの知致(1)オーム考えとそれを要が知り、全体と中心の知識と情報と情報と情報と同じ、となど知り、集とを明確にして、経験したことや想像したことを選が、集とを明確にして、伝えたいことを現りまりに、会えたいことを現り、大力を出めらり、大力を出めることを選が、まり、大力を出める。ともの関係について、大力を出めることを選が、まり、大力を出める。ともの関係に対して、大力を出める。とものでは、本力を明確にし、内容の意したり、思判まりとすることを対類しまり、大力をは、大力を出める。とものでは、文章をを可に、大力を出り、大力を記しまり、大力を記して、大力を正したり、相手や目的を意識したまり、自身ので、大力を正したり、相手や目的を意識したままして、対応のにいるを表し、対応を正したり、相手や目的を意識した表し、対応のにいて、対応といるを表えるとは、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、	◎【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質を役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ) ◎【知技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(〔知識及び技能〕(2)ア) ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手やす文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力で、文章に対する感想や意見を伝えるの、文章のよいところを見付けている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ) 【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことが等〕Bエ) ◎【思判表】「書くこと」において、書こうとしたことにえまり、文章を考えている。(「思考力、判断力、表現力等」Bオ) 【態度】粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているできごとについて文章を書く。
漢字の広場 ⑥ 二つの漢字の組み合わせ	△漢字二字の言葉の構成について、問題を解きながら 確認し、二つの漢字のつながり方を考える。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文ペ 文章の中で使っている。([知識及び技能](1)エ)
漢字の広場 ⑥ 二年生で学んだ漢字 ⑥	△絵を見て想像したことをもとに、2年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(〔知識及び技能〕(1)エ)
	△第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 →◎知技(1) ユ 人主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。 →知技(1) カ △丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。 →知技(1) キ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。 →◎思判表B(1)エ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 →思判表B(2) ウ	【思判表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕 Bエ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

六 登場人物の気持ちのうつりか わりを読もう	□登場人物の心の動きを想像しながら,消えていった おにたに手紙を書く。	
おにたのぼうし	ア	 ◎【知技】様子や行動,気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(〔知識及び技能〕(1)オ) 【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などと違いがあることに気付いている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
国語の学習 これまで これから	◇一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。 △相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。 →◎知技(1)イ ◇目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 →⑥思判表A(1)ア ■自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 →⑥思判表B(1)ウ ◇質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動。 →思判表A(2)イ ■調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 →思判表B(2)ア	 ◎【知技】相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(〔知識及び技能〕(1)イ) ◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(〔思考力、判断力、表現力等〕Aア) ◎【思判表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) 【態度】積極的に伝え合うために必要な事柄を選び、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。